



白萩

学校だより「しらはぎ」

令和8年 4月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 鈴木信成

当たり前を大切に（始業式講話より…）

校長 脇 本 達 也

今日からいよいよ、1学期が始まります。学年が一つ上がり、新しい目標や期待を胸に、この日を迎えた人も多いことでしょう。新学期の始まりにあたり、今日は皆さんに「当たり前を大切にする」というお話をしたいと思います。

皆さんの学校生活には、毎日の中にたくさんの「当たり前」があります。時間を守って登校すること、先生や友だちにあいさつをすること、授業に真剣に取り組むこと、ルールを守ること。これらは、特別なことではなく、誰もができて当たり前だと思われがちなことです。しかし、この「当たり前」を、当たり前として丁寧に続けることは、決して簡単なことではありません。少し気が緩んだり、面倒になったりすると、遅刻をしてしまったり、あいさつがおろそかになったりします。その積み重ねが、学校生活の雰囲気や、自分自身の成長に大きな影響を与えます。逆に、当たり前のことを大切にできる人は、周りから信頼されます。きちんと話を聞く、約束を守る、人の話に耳を傾ける。そうした姿勢は、勉強の力だけでなく、人としての力を大きく伸ばしていきます。

新しい学年の始まりは、自分を変える絶好のチャンスです。「今年は毎日あいさつをしっかりしよう」「授業に集中することを大切にしよう」「友だちを思いやる言葉を使おう」など、小さな目標で構いません。一つでも良いので何か決めて、やってみてください。一人一人の「当たり前」の積み重ねが、クラスをつくり、学年をつくり、そして学校全体をつくっていきます。ぜひ、「当たり前を大切にする」という気持ちを忘れず、全ての生徒が安心して学び、楽しく通える学校にしていきたいと思います。

先生たちは、皆さん一人一人の挑戦と成長を、全力で支えています。

保護者の皆様へ「1年間よろしくお願いいたします」

今年度も「傾聴」を基本方針として、教職員一同、子どもに対しても、保護者の方に対しても、誰に対しても、気持ちに寄り添い、話を丁寧に聴く学校を心がけてまいります。そして、今年度より、教育目標の重点項目を「思いやりのある人」に変更し、増戸小学校と共同で道徳教育に力を入れるとともに、いじめ・不登校対策にも取り組んでまいります。引き続き本校の教育活動に、御理解と御協力をお願いいたします。